

母谷たつのい 市議会だより



前 広島市議会議員

母谷たつのい

Challenge 21

- 9月定例会
- 決着！安佐市民病院
- 平和記念資料館の観覧料改定
- 12月定例会
- サッカースタジアム

まつり
くんぶう

Vol. 61

謹啓

新年明けましておめでとうございます。

本年が皆様にとって素晴らしい申年となるよう心からご祈念いたしております。

年明け早々の1月4日から通常国会が召集され、TPP、税制改革など主要課題を処理し5月の伊勢志摩サミット(先進国首脳会議)を成功させた後、夏の参院選挙で自民党勝利を勝ち取りたいものです。

巷間、衆参同日選挙も囁かれ株価、経済情勢と合わせ内閣支持率などが気になるところです。

私は現在、反省と感謝の日々を送りながら議会経験を活かして佐伯区発展、地域活性化のために微力ながら力を注いで参りたいと考えております。

今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

謹白

9月定例会(平成27年9月14日～29日)

平成27年9月定例会は、9月14日から29日までの16日間の日程で開催され、4億5千万円余りの一般会計補正予算案ほか、条例案6件、その他の議案など22件が上程されました。中でも一般会計補正予算では、安佐市民病院の移転建て替え問題と広島平和記念資料館の観覧料改定に関心が注がれました。その他、防災まちづくりの推進で基金の設置1億6千万円が計上されたほか、本年5月の先進国首脳会議に先立ち4月に広島市で行われるG7外相会合の開催支援負担金3千万円なども提案されました。

市長より提出された議案は全て常任委員会へ付託されて審査された後、最終日の29日に採決した結果、原案通り賛成多数で可決されました。

決着！安佐市民病院

安佐市民病院は平成26年度に広島市の直営病院から独立行政法人広島市立病院機構に運営形態が変更されました。独立行政法人は、事業を行う組織が主体性をもって存在意義や効率性、先進性などを目的として地方自治法の改正により実施されているものです。

したがって建設に当たって広島市は、その骨格となる部分を設置者として示し、細部にわたる建設設計画、経営方針や人材配置等、詳細については今後、独立行政法人において独自に検討、決定されることになっています。

1年半続いた安佐市民病院の移転建て替え議案が松井市長から9月議会に再提案され決着がつきました。安佐市民病院は、平成26年(2014年)2月議会で老朽化、耐震性の向上、狭隘化の解消と高度先進医療機能を拡充するため安佐北区・荒下地区への全面移転を目的とする議案が提出されました。

が、当時の採決は賛否同数となり、当時の議長判断で否決となっていました。

当局は、平成27年に地元町内会等への説明会や意向調査を丁寧に進め、昨年の9月議会に再び提案しました。

内容は、日常的に高齢者や地域住民等が受診できる医療機能を現在地の北館に残し、高度先進医療、災害拠点病院としての機能を荒下地区へ新設するというものです。

採決は最終日に記名投票で行われ、賛成30票、反対23票となり、機能分化案を賛成多数で可決し、前回とは大きく様変わりしました。

この結果、これまでのJR芸備線の踏切や道路事情による渋滞で救急車両に支障が発生していましたがスムーズな救命搬送が期待され、耐震性の確保、駐車場の混雑も同時に解消されるというメリットがあります。

議案内容がベストではないかもしれません、地元の意向、広島市北部の街づくり、議会での議論といった総合的判断からこうした結果が出されたものと考えています。賛否両論それぞれの判断の中には様々な思いが含まれており、議会で出された結論の双方を尊重し、広島市北部の拠点病院としてあるべき姿を目指すことが重要です。

佐伯区選出議員の投票結果は以下の通りです。

第90号議案 独立行政法人広島市立病院機構中期計画の変更に係る認可について

【賛成】宮崎誠克(自由民主党) 米津欣子(公明党)

【反対】藤田博之(市政改革ネット) 児玉光禎(自民党保守クラブ)
桑田恭子(市政改革ネット) 森野貴雅(広島維新の会)

整備スケジュールは、平成27年度10月以降、平成29年度までに基本計画を、平成30年度中までに実施計画を策定する予定です。建設工事は平成31年度から33年度までを予定しており、平成34年春の開設を目指しています。北部拠点病院の開業で広島市民病院(基町)の患者数増加による待ち時間の短縮、効率化などの混雑解消も期待されています。

あなたの声を聞かせてください。みんなでつくるより良い佐伯区!

母谷たつのい
ほっとライン

私が直接
ご返事します



TEL.929-9002

info@notani.jp

平和記念資料館の観覧料改定

国の重要文化財である「広島平和記念資料館」は現在、老朽化による建物改修や耐震補強工事を行っています。完成後には常設展示の在り方も大幅な見直しを行い、「被爆の実相」を中心的な展示に位置付け充実を図る予定となっています。こうしたことから被爆70周年を契機に管理運営に係る実費を考慮するとともに建物の強靭化、展示内容の充実強化を図り持続可能な平和記念資料館運営のため観覧料について見直されたものです。本年4月1日より施行されます。

大人	現行	50円	→	改正後	200円
小人	現行	30円	→	改正後	100円



平和記念資料館

12月定例会(平成27年12月3日~15日)

12月定例会は、12月3日から15日までの13日間の日程で開催され、17億2500万円余りの補正予算案を含む予算案4件と条例案7件、その他の議案17件が上程され最終日の本会議で原案通り可決されました。

その主なものは、平成26年度収支剩余金のうち11億8800万円が財政調整基金へ積み立てられ、2億6000万円余りが後期高齢者医療事業へ納付されました。

また、広島駅新幹線口のペデストリアンデッキ整備において労務単価の上昇と地下障害物の撤去費用等が生じたため、2億6000万円の補正予算が措置され、同時に工期の延長も承認されました。

本議会に先立つ決算特別委員会では、分科会審査を経て平成26年度の決算内容がすべての会計で認定されました。

サッカースタジアム

昨年のサンフレッチェ広島の活躍は目覚ましいものがありましたね。

ステージ優勝の後、チャンピオンズリーグでもその実力をいかんなく發揮して日本一の座を射止め、世界クラブ選手権大会では準決勝で惜敗したものの見事に世界第3位のチームになりました。こうした結果は、ここ数年広島サッカースタジアムの建設が議論され、市民の熱がサンフレッチェを後押ししている感じます。広島市のサッカースタジアム建設協議会では旧市民球場跡地(広島市)と広島みなと公園(広島県)の2か所を最終候補地として結論を出しましたが、主体となるのは県か市のどちらになるのかハッキリしない玉虫色状態となっています。

そのどちらにも難問が指摘され判断を鈍らせているように思います。



広島県営陸上競技場（上部後方は県営野球場）

こうした状況でサッカースタジアムの早期建設を望むなら私はズバリ観音の広島県営陸上競技場の改修でサッカースタジアム化を3つ目の候補地として加えても良いのではないかと思います。

施設はスタンドや照明設備の改修、増設、居室の手直しなどは新設よりもかなりの安価で早期に実現するという最大のメリットがあると思います。

アクセスは開催日に合わせたバス便の増便、臨時便などで対応し、周回の一方通行等により渋滞を防ぐことが可能であり、観音地区の再活性化にも役立つと考えます。

何より県と市が陸上競技場をそれぞれ所有するということは、行政コストの面からもマイナスであり、二重行政の解消という知事、市長の政治姿勢にも最大に合致しているのではないかでしょうか。

母谷たつのり事務所

〒731-5114 広島市佐伯区美鈴が丘西5丁目17番12号



もたにたつのり

<http://www.motani.jp> 平成28年(2016年)1月発行 母谷たつのり事務所

TEL.929-9002
FAX.927-7080

ともに進む
希望あふれる未来。